

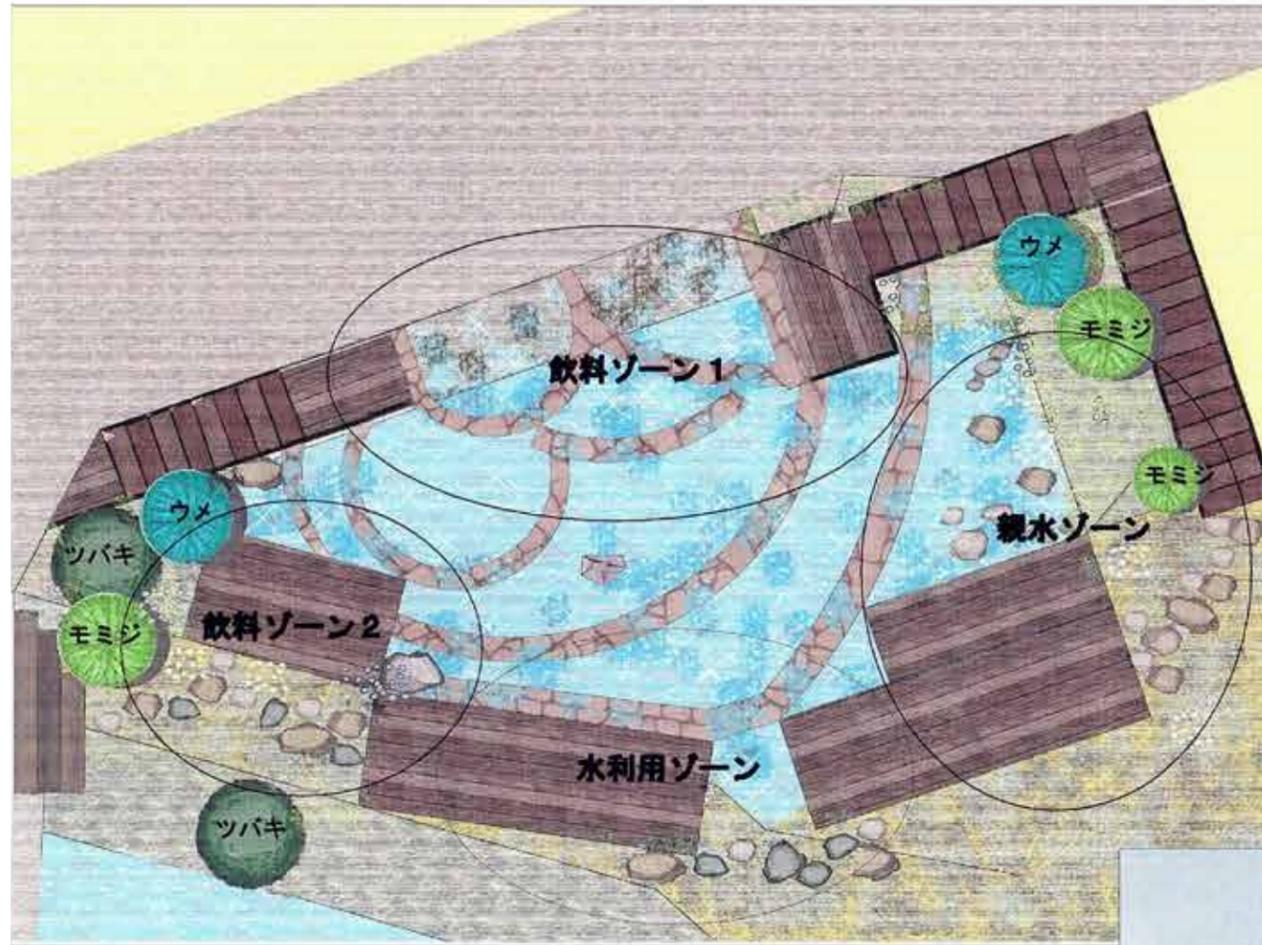


菊水町を流れる菊池川を砂利で意匠した現代和風庭園。
土留めとベンチを兼ねた自然石の植栽柵によって、くつろげる空間。
見る庭と集う庭を融合させることにより、外来者への広報と、町民の利用による生きた庭園。



農業と林業、畜産など、自然豊かな町の庁舎前を修景。
生命力を感じ、訪れた人たちの憩いの場となるよう意匠した。





植栽計画

現況には、梅の古木が植わっているので、それをそのまま活かす計画にします。
 梅の木をもう1本増やし、もみじ、を添えて、紅葉も楽しめるようにします。
 また、椿の木もそのまま活かし、なるべく、無駄のないよう配植します。
 低木、下草には、萩やドウダンツツジ、湿地や水地に適性な植物を植えます。
 ショウブ、シュロガヤツリ、トラノオや、クリンソウで、花も楽しめる場所になるよう計画します。

この水源は、水を地域の人々が実際に利用することと、町外から訪れた人たちも楽しめるようなデザインになっています。
 飲み水から、野菜や洗い物の利用、浅瀬に石を配して、子供たちが遊べる空間も計画し、意匠性と実用性を兼ね備えるようにします。

